

研究課題(テーマ)
自分の周りの水質調査

研究の目的

自然災害で水の大切さを感じたから。

仮説

川の水(江津湖)をbod値やcod値を使ってきれいな川だと思う

結論

熊本県の河川は他県と比べ比較的きれいな川が多い。

根拠や考えを証明する研究の方法

水質調査キットを使ってどのくらいきれいかを調べる

球磨川の川辺川は毎年BOD0.5mg以下でとてもきれいな河川に選ばれている。

※魚類に対しては、溪流等の清水域に生息するイワナやヤマメなどは2mg/L以下、サケ、アユなどは3mg/L以下、比較的汚濁に強いコイ、フナなどでは5mg/L以下が必要とされている。対象は、河川。基準値は、類型により異なり、1~10mg/L以下と定められている。

江津湖はこれが2mgである。

COD数値の目安

数値	汚濁の目安
0mg/Lリットル	汚濁のないきれいな水
1mg/L 以下	ヤマメ、イワナなどが住むきれいな溪流
1~2mg/L	雨水と同じくらい
2~5mg/L	少し汚れている。3mg/L 以下ならサケアユが住める
5~10mg/L	汚れている汚濁に強いコイやフナなどが住む
10mg/L 以上	大変汚れていて下水や汚水がこの値を示すことが多い

結果

Bod値が減少しており、熊本の河川の有名な川は年々値が減少している。
令和元年の白川・緑川はグラフより、Bod値は1.2ほどになっており、なかなかきれいな川だといえる。



考察

熊本市の水道はすべて地下水でまかなっているように、熊本県は全国でもきれいな川だとわかった。このままだんだんときれいな川になっていくということもグラフから感じる事ができた。自分はきれいな川を生み出すことは難しいが汚くならないように維持することはできると思うから、生活排水などにも気を遣いポイ捨てできないような環境を作りたい

自分たちにできること

- 1.食べ残しをしない
天ぷら油やマヨネーズは水質への影響が大きい
- 2.油汚れを拭き取る
生活排水としての油をできるだけ少なくする
- 3.洗剤を使いすぎない
必要な量に抑えることが大切

球磨川の水はbod値は5に近い色であった



御船川も5mgに近かった



緑川は10mgに近い色であった



白川は0~5mgの間であった



参考文献

https://www.egmkt.co.jp/column/consumer/20210830_EG_155.html#:~:text=

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/river/kanri/suishitsu.html>